

社協さって市

みんなにやさしいまちづくり

皆様からいただいた社協会費で福祉に関する様々な事業を行っています。



ふれあい・いきいきサロンの活動支援



車椅子同乗車両・車椅子の貸出



彩の国ボランティア体験の開催



点字あゆみの会交流会



敬老会の開催



ひとり暮らしの高齢者などへお弁当を配達



グラウンド・ゴルフ プラチナ大会の開催



傾聴ボランティア訪問事業 事例検討会



災害ボランティア研修会

大規模災害が発生した時に、必要なボランティア活動が行えるよう、事前に登録している災害ボランティアを対象に、災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練や研修会を行っています。



健康福祉まつりの開催



ひとり暮らし高齢者日帰りバス旅行

発行

社会福祉法人幸手市社会福祉協議会
〒340-0152

幸手市大字天神島1030番地1
幸手市保健福祉総合センター ウェルス幸手内
☎43-3277 ☎40-1460

<http://www.satte-syakyo.or.jp>

◎自立した生活に向けて、相談支援なども行っています。詳しくは5頁をご覧ください。

令和元年度 事業報告・決算

収入 150,171,903円

支出 147,168,811円

※活動の一部をご報告いたします。

収入科目	収入金額
会費収入	5,809,000円 3.9%
寄付金収入	2,153,974円 1.4%
補助金収入	43,545,375円 29.0%
受託金収入	9,642,415円 6.4%
事業収入(手数料・利用料等)	1,792,036円 1.2%
障害福祉サービス等事業収入	79,341,767円 52.8%
就労支援事業収入(施設)	4,351,350円 2.9%
資産取崩等による収入	2,004,936円 1.3%
その他の収入	234,412円 0.2%
前期繰越金	1,296,638円 0.9%

地域の福祉活動に関すること

- ふれあい・いきいきサロンの活動支援
事業費：724,936円 市内26サロンへ助成
- 福祉機器(ベッド・車椅子)の貸出
事業費：518,352円
電動・手動ベッド貸出 利用者 58人
車椅子貸出 利用者 255人
- 健康福祉まつりの開催(市と共催)
事業費：332,824円 来場者数 1,920人
- 車椅子同乗車両の貸出
事業費：224,969円
登録者数 41人 利用回数 122回

高齢者、障がいのある方に関すること

- 敬老会の開催(市と共催)
事業費：2,183,410円 参加者数 7,216人
- ひとり暮らし高齢者日帰りバス旅行
事業費：1,091,778円 参加者数 97人
- 調理が困難になられた方へお弁当を配達
事業費：244,293円 実施回数 18回
- 金婚(結婚50年)を迎えるご夫婦へ記念品を贈呈
事業費：68,160円 46組のご夫婦へ贈呈
- グラウンド・ゴルフ プラチナ大会の開催
(市・教育委員会と共催)
事業費：117,376円 参加者数 185人
- 在宅介護者手当を受給している介護者の日帰りバス旅行
事業費：80,492円 参加者数 12人
- 福祉サービス利用援助事業
事業費：938,870円 延べ相談等件数 164件

こどもたちに関すること

- 小・中学校の福祉教育の推進
事業費：198,188円
福祉協力校：上高野小・吉田小
- 小・中学生ボランティア活動作品(標語)を募集
事業費：150,239円 応募作品数 1215作品
- 子育て応援まつりへの助成 60,000円
- 子どもが誕生した世帯へ赤ちゃん用品券を贈呈
事業費：83,000円 申請者数 40人

ボランティア活動に関すること

- 災害ボランティア登録者を募集
登録者数 26人
- 手話奉仕員を養成(市受託事業)
事業費：475,262円 受講者数 14人
- 保育・傾聴ボランティアを育成
事業費：144,291円 受講者数 85人
- 彩の国ボランティア体験の開催
事業費：315,454円 163人が体験
- ボランティア団体活動に助成
活動助成金 12団体 178,047円
事業助成金 5団体 99,943円

生活にお困りの方に関すること

- 生活にお困りの方の相談窓口
事業費：8,161,153円
新規相談件数：72件 延べ支援件数：162回
- 非課税世帯への慰問金品の贈呈
事業費：1,943,784円 48件に贈呈
- 心配ごとを抱える方への相談受付
事業費：133,870円
相談件数 13件 相談人数 13人

障害者自立支援施設に関すること

- さくらの里(就労継続支援B型)の管理運営
事業費：33,884,558円
利用者数 20人
- なのはなの里(生活介護)の管理運営
事業費：45,545,209円
利用者数 16人



令和2年度 事業・予算

次のような事業を重点的に取り組みます。

- ①生活にお困りの方の自立に向け、一人ひとりの状況に応じた支援を行います。
- ②災害時に備えて、災害ボランティアセンター等の支援体制づくりに力を入れます。
- ③地域福祉・ボランティア活動の推進に係る市民活動を支援します。

- ④幸手市障害者自立支援施設「さくらの里」「なのはなの里」のサービスをより良いものとするため、今後5年間の方針を検討し、指定管理業務の継続受任を目指します。
- ⑤活動に必要な自主財源（会費・共同募金・寄付金）を確保するため、協力を得られるよう社協事業のPRに努めます。

令和2年度予算

収入科目	予算額	
会費収入	6,280千円	3.8%
寄付金収入	2,000千円	1.2%
補助金収入	44,064千円	26.8%
受託金収入	10,429千円	6.4%
事業収入（手数料・利用料等）	1,868千円	1.1%
就労支援事業収入	4,900千円	3.0%
障害福祉サービス等事業収入（給付費・市受託金）	90,021千円	54.7%
その他	4,952千円	3.0%
収入合計	164,514千円	
支出科目	予算額	
人件費支出	122,736千円	74.6%
事業費支出	16,660千円	10.1%
事務費支出	2,928千円	1.8%
共同募金配分金事業支出	7,590千円	4.6%
貸付事業支出	450千円	0.3%
助成金支出	1,102千円	0.7%
就労支援事業（施設）	4,900千円	3.0%
その他	8,148千円	4.9%
支出合計	164,514千円	

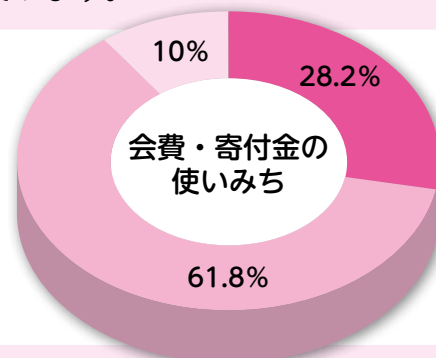
事業ごとの支出内訳	
法人運営に関する経費（人件費・事務/事業費） 42,846千円（昨年度対比+1,530千円）	26.0%
地域福祉に関する事業経費 15,255千円（昨年度対比△1,040千円）	9.3%
ボランティアの育成に関する経費 1,659千円（昨年度対比△66千円）	1.0%
福祉サービス利用援助に関する経費 958千円（昨年度対比+27千円）	0.6%
生活福祉資金の貸付に関する経費 104千円（昨年度対比△9千円）	0.1%
生活困窮者への支援に関する経費 8,771千円（昨年度対比+261千円）	5.3%
障害者自立支援施設の管理運営に関する経費 94,921千円（昨年度対比+5,678千円）	57.7%

社会福祉協議会会費・寄付金の使いみち

みなさまからご協力いただいた会費・寄付金は、地域福祉のまちづくりを推進するため、さまざまな事業を通じて市民のみなさまに還元されています。

- 法人運営のために
（事務経費、役員会、会員募集など）
- 地域福祉活動のために
（ふれあい・いきいきサロンの活動支援、車椅子・介護用ベッド・車椅子同乗車両の貸出、ひとり暮らし高齢者日帰りバス旅行、グラウンド・ゴルフ プラチナ大会の開催、福祉活動への助成など）
- ボランティア活動支援のために
（各種ボランティア養成講習会の開催、団体活動支援など）

※職員の人件費は、市からの補助金・受託金で賄われています。



ボランティア・市民活動センターだより

社協には、「個人ボランティア」として、福祉施設や病院で演奏などを披露してくださる方の他、ご自身の空いた時間に、子育て世代や小中学校の生徒に寄り添ってくださるボランティアの方々が活動中です！関心のある方は、ぜひ社協（☎43-3277）までお問い合わせください！

★保育ボランティア★



未就学児を子育て中の保護者が市の講座などに参加する間に、別室でお子さんの保育をするボランティアさんです。スキルアップ講座を兼ねた交流会も行います。

★福祉教育協力ボランティア★



市内小中学校で、「車椅子体験」「アイマスクガイド体験」の授業をする時に地域の方に協力していただいています。(写真提供協力：上高野小学校)

報告とお礼

長い間、ボランティア団体として地域福祉の向上にご尽力いただきました下記の団体が、令和2年5月15日をもって解散されました。改めて、その活動に感謝申し上げます。

女声コーラス フルーレット

平成18年12月に発足。福祉施設や病院からの要請に応じて、コーラスを通じて楽しいひと時が持てるようにプログラムを工夫して訪問されていました。訪問先の皆様も一緒に歌を歌ったり、とても楽しいひと時を過ごされたことと思います。



講座の日程変更について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、6月開講予定の講座が、下記のとおり「延期」になりました。

音 訳 朗 読 講 習 会 (初級)

- ★日 時 10月26日～12月21日 毎週月曜日全6回
※除外日及び予備日あり
午後1時30分～午後3時30分
- ★会 場 幸手市保健福祉総合センター 会議室
- ★内 容 ①音訳朗読の基本を学ぶ
②音訳朗読ボランティアの必要性和意義
③朗読データのデジタル編集
- ★対 象 市内在住在勤及び隣接市町在住で、音訳朗読ボランティアに関心がある方
- ★定 員 20名 (申込順)
- ★参加費 168円 (保険代)
- ★申込み 9月7日(月)～10月19日(月)に、幸手市社会福祉協議会に電話または窓口へ



講座の様子

生活にお困りの方へ…

幸手市生活自立支援センター

のご案内

幸手市生活自立支援センターとは？

経済的な問題で生活にお困りの方の相談窓口です。
ご本人の抱えている問題をお聞きし、解決の方法を一緒に考え、「自立」に向けて支援します。お気軽にご相談ください。



対象者

幸手市内にお住まいで、生活にお困りの方（生活保護受給中の方は除きます。）

事業内容

【自立相談支援】

ご本人の状況に応じて、どうしたら解決できるか、解決のためにどのような支援が必要か、一緒に考え、具体的にプラン（計画）を作成し、ご本人の活動を継続的に支援します。

（例えば・・・他の制度や関係機関に繋ぐ、同行訪問など）

収入



生活



仕事



不安



【住居確保給付金】

離職等ややむを得ない休業等により経済的に困窮し、住居を失った方、または失うおそれの高い方へ、求職活動等を行うことなどを条件に、一定期間家賃相当額（上限あり）を支給します（持ち家の方は対象となりません）。

- ・世帯の収入が一定額以上の場合、収入に応じて支給額が変わります。
- ・必要書類や支給要件、その他の詳細については、事前にお電話でお問い合わせください。



問 合 せ

幸手市生活自立支援センター

（幸手市社会福祉協議会事務局内）

電 話 番 号

43-3277

相 談 日

毎週月曜日～金曜日（土・日・祝日、12/29～1/3は除く）
午前8時30分～午後5時15分

社協からのお知らせ

幸手市障害者自立支援施設 非常勤職員募集

幸手市障害者自立支援施設と一緒に働いてみませんか。ご応募お待ちしております。

- ◆勤務内容 障害者自立支援施設での生活支援員
- ◆勤務場所 幸手市障害者自立支援施設
さくらの里・なのはなの里
- ◆勤務時間 午前8時30分～午後4時30分
(週5日勤務)
- ◆賃金 時給980円
- ◆福利厚生 社保完備・交通費支給・有休あり
- ◆募集人員 1名
- ◆対象 健康で働く意欲のある方
- ◆申込み・問合せ
(福) 幸手市社会福祉協議会
電話：43-3277

金婚を迎えられるご夫婦へ —結婚50年の記念に—

金婚を迎えるご夫婦へ
記念品を差し上げます。



- ◆対象者 社協の会員で申請時に、結婚(婚姻)の届出をした日から50年以上になる夫婦で前年までに金婚のお祝いを受けていない方
※再婚の場合は、再婚してから50年以上の夫婦となります。
- ◆申込み 婚姻年月日のわかる証明書類(戸籍謄本または、夫婦どちらか一方の戸籍抄本)を持参のうえ、社協窓口へ

エコキャップ回収報告

皆様から協力いただいたエコキャップの回収報告です。

- ◆回収場所 幸手市役所、ウェルス幸手
- ◆回収期間 平成31年1月～令和元年12月
- ◆回収重量 462kg
- ◆回収個数 198,660個
- ◆ワクチン 約59.7人分



使用済み切手の回収

使用済みの切手を回収しています。
回収した切手は、養護盲老人ホーム
ひとみ園へ寄付しています。使用済
みの切手のある方は、ぜひ、社会福
祉協議会へご提供ください。



ベルマークの回収

ベルマークの回収をしています。
皆さまのご協力をお願いいた
します。回収したベルマーク
は、市内の小・中学校へ寄付し
ます。



◆回収箱の設置場所

幸手市役所、ウェルス幸手、中央公民館

赤ちゃん用品券配付のご案内

赤ちゃんが生まれた世帯に、用品券を差し上げ
ます。

- ◆配付対象 市内在住の社協会員世帯で、子ども
を出産してから満1歳を迎えるまで
の世帯
- ◆申込み 母子健康手帳(市町村長の出生届出
済証明印があるもの)及び印鑑を持
参のうえ、社協窓口へ
- ◆配付内容 2,000円分の用品券

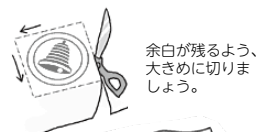


「大きめに切る」ことがコツです

①丸いマークも四角に切る
四角に切ると扱いやすくなります。

②小さなマークは大きく切る
小さなマークは周りに余裕を持たせ、
2センチ角くらいに切ると、数えるの
にも楽です。

③つながったマークはそのままで
キューピーなど、何枚かつながった
マークは全体を1枚に切ってもか
まいません。



余白が残るよう、
大きめに切りま
しょう。



集計作業では、
ホチキスで
とめます。

募集掲示板

新型コロナウイルスの影響により 生活にお困りの方へ

新型コロナウイルス感染症の影響により、生活資金にお困りの方々に向けた特例貸付を実施しています。

緊急小口資金

休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯

- 貸付上限額 20万円以内
- 据置期間 1年以内
- 償還期限 2年以内
- 貸付利子 無利子
- 保証人 不要

総合支援資金

収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯

- 貸付上限額 ・2人以上世帯 月20万円以内
・単身世帯 月15万円以内
- 据置期間 1年以内
- 償還期限 10年以内
- 貸付利子 無利子
- 保証人 不要

◆問合せ

(福) 幸手市社会福祉協議会
電話 43-3277
受付 午前8時30分～
午後5時15分
※土日・祝日除く



福祉用具リサイクル事業 —福祉用具が不要になったら—

社会福祉協議会では、ご家庭で使わなくなった福祉用具について、「譲りたい人」と「譲って欲しい人」の間を橋渡ししています。ご家庭で眠っている福祉用具が、誰かの生活の手助けになるかもしれません。

登録をお待ちしております。

※無償で譲渡できるものに限りします。

●福祉用具に関する情報提供や登録手続きについては、社会福祉協議会までお問い合わせください。



問合せ (福) 幸手市社会福祉協議会
幸手市大字天神島 1030-1
☎43-3277 FAX 40-1460

(福) 幸手市社会福祉協議会の 事業等について

今年度、予定していました下記事業等は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、中止等とすることにいたしました。

1	彩の国ボランティア体験プログラム	中止
2	手話講習会(入門編)	中止
3	手話講習会(レベルアップ課程)	中止
4	小中学生ボランティア活動作品(標語募集)	中止
5	第40回幸手市健康福祉まつり	検討中
6	幸手市敬老会	検討中
7	ひとり暮らし高齢者日帰りバス旅行	検討中
8	グラウンド・ゴルフ プラチナ大会	検討中

何卒ご理解いただきますようお願いします。

心配ごと相談

日常生活の中で悩みごと・心配ごと等1日でも早く解決できるよう相談に応じます。

- ◆相談日 毎月第2・第4木曜日(祝日は除く)
- ◆時間 午後1時～午後4時
- ◆場所 幸手市社会福祉協議会相談室
※予約はいりません。電話相談もお受けします。



ボランティア相談

ボランティアを必要としている方、活動に参加したい方の相談をお受けいたします。

- ◆相談日 月曜日～金曜日(祝日は除く)
- ◆時間 午前8時30分～午後4時
- ◆場所 ボランティア・市民活動センター
※電話相談もお受けします(社協内)



令和2年度(福)幸手市社会福祉協議会 会員加入のお願い

幸手市社会福祉協議会では、住み慣れた地域で、誰もが安心して暮らせる「福祉のまちづくり」を目指して活動しております。

皆様からご協力いただいた会費は、「サロン活動の推進」「福祉機器や車椅子同乗車両の貸出」「結婚50年を迎えたご夫婦に金婚祝品の贈呈」「各種ボランティア講習会」等さまざまな地域福祉活動の推進のために、活用させていただきたいと存じます。

ぜひ、趣旨をご理解の上、会員へのご加入をよろしくお願いいたします。

社会福祉協議会（通称：社協）は、社会福祉法に基づきすべての都道府県・市町村ごとに設置され地域の福祉推進を図ることを目的として、さまざまな活動を行っている非営利の民間組織です。



会員の種類と会費(年額)

一般会員	500円
協力会員	1,000円
特別会員	5,000円以上

募 集 方 法

7月・8月を会員募集の推進期間とし、自治会等を通して加入のお願いをしております。また、年間を通して社協の窓口でも受け付けております。（ご連絡をいただければ、社協職員が直接お伺いします。）

みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

(福) 幸手市社会福祉協議会につきまして、詳しくはホームページ
[<http://www.satte-syakyo.or.jp>] をご覧ください。

